

「自分のペースで楽しい農業を目指す」



玉井 伶緒 (23 歳) 新規学卒
(西条市)

1 就農の動機・理由

小学生頃から親の農業を手伝っていた中、高校を通う頃から農業機械に興味を持つようになり、農業で頑張っていきたいと思うようになった。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成 31 年)	現在の経営 (令和 4 年)	将来の経営 (令和 7 年)
労働力	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)
経営耕地	水田 56a	水田 97a	水田 97a
経営内容	きゅうり 6a ブロッコリー 50a	きゅうり 6a ブロッコリー 20a 一吋ソラマメ 15a サトイモ 30a	きゅうり 10a ブロッコリー 15a 一吋ソラマメ 15a サトイモ 50a

○農業用施設

農業用倉庫 1 棟

○主要農業機械

軽トラック 1 台
トラクター 1 台
管理機 1 台
動力噴霧機 1 台
積込バケット 1 台
里芋根切り機 1 台
畦立成形機 1 台
里芋掘取機 1 台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県西条市

就農研修歴

愛媛県立農業高等学校

(H29. 4. 1~H31. 3. 31)

就農年月 平成 31 年 4 月

(2) 就農時の思い

就農 1 年目は、計画通り農業ができるか不安でいっぱいであった。2 年、3 年と経験を積んでいく中で、計画通り作業が進み不安は取り除かれていった。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

JA 里芋部会に参画するとともに各栽培講習会にも参加して技術の習得をしていった。

(2) 資金の準備

農業次世代人材投資事業（準備型・経営開始型）を始め、JA 資金や県補助金などを活用している。

(3) 農地・住宅の確保

親の農地や近隣の農家さんより農地を借り受けることとした。

(4) その他苦労したこと

特になし

5 農業経営の特徴

1年間を通して収穫できる作物を選定している。また、親の農作業の手助けも一部している。

6 これからの夢

親に相談することなく自分で主体性を持ち、より効率的な機械化や農作業を実践していきたい。

7 成功したキーポイント

もともと自分のペースで農業をしたいと思っており、高校時代や農業大学校でできなかったことを自分の考え方でできることが成功への一歩と思う。

8 就農を目指す方へのアドバイス

他の野菜栽培の間でのサトイモを管理するのは難しいけれど、サトイモは防除や追肥が少なく、他の作物に比べて手間がかからないのでおすすめです。

○ 指導機関からのひとこと

就農当初から普及指導員や JA 指導員の指導を真剣に学び、サトイモやブロッコリーなど基準収量を確保できるまでになってきた。農業に対する熱心さは健在で今後地域の担い手として期待しております。



一寸ソラマメの除草作業

執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室
電話番号 0898-68-7322